2026 年 11 月 25 日

アート・工芸作品のプラットフォーム「B-OWND」、ヴェネチア・ビエンナーレ 2026 公式サテライトイベントにて「ECC Awards」を受賞

～「二元論（分断）」を問い直し、日本の美意識を体現した空間と、工芸・茶の湯・マンガを融合させたキュレーションに高い評価～

商業施設・文化施設などの空間づくりをおこなう株式会社丹青社（本社：東京都港区／代表取締役社長：小林 統／以下、丹青社）が展開するアート・工芸作品のプラットフォーム「B-OWND（ビーオウンド）」が、ヴェネチア・ビエンナーレ 2026 の公式サテライトイベント「Personal Structures（パーソナル・ストラクチャーズ）2026」で開催した企画展『Relational Logic — Beyond Dualism, a World Reconnected（関係の論理 — 二元論を超え、結び直される世界）』が、国際的な現代アートアワード「ECC Awards」の『Artistic Interpretation of the Theme: Confluences（展示テーマ「合流」の芸術的な解釈）』部門を受賞しました。

ECC Awards は、Personal Structures 全出展作品の中から 5 部門・各 1 作品（計 5 作品）に贈られる栄誉ある賞で、日本人による受賞は、2015 年のオノ・ヨーコ氏以来の快挙となりました。



■受賞の背景と評価

Personal Structures 2026 は、European Cultural Centre (ECC)が主催し、ヴェネチア・ビエンナーレ 2026 と同時期（2026 年 5 月 9 日～11 月 22 日）に開催された国際的な現代美術展です。40 カ国以上から 175 組のアーティスト・アートプロジェクトが参加し、主催発表によると会期中 57 万人以上が来場しました。

B-OWND は、15 世紀に建てられた歴史的建造物「パラッツォ・ベンボ（Palazzo Bembo）」の全 7 室を使用し、企画展『Relational Logic — Beyond Dualism, a World Reconnected』を開催しました。現在の世界を取り巻く「二元論（分断）」を問い直し、東洋古来の「縁（関係）」や「空（くう）」の思想に基づいて分断された価値の再接続を試みた本展では、日本の工芸をバックグラウンドにもつ 6 名のアーティストによる作品と、アートコレクティブ「TeaRoom」による茶の湯のインスタレーション、特別協業として集英社マンガアートヘリテージによる荒木飛呂彦作のマンガ『ジョジョの奇妙な冒険』のアート作品を融合させた展示と、丹青社デザイナーによる空間デザインを展開しました。会期中、初日に世界中のアート関係者をはじめ 3,000 名以上が訪れ、最も来場者の多い企画展示となるなど、大きな反響を得ました。

リリースに関するお問い合わせ先 ：
株式会社丹青社
広報室 担当：石綿、寺戸
Tel：03-6455-8115　Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp
お問い合わせフォーム：https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr

今回の ECC Awards『Artistic Interpretation of the Theme: Confluences』部門受賞において、Personal Structures 2026 全体のテーマである「Confluence（合流）」に対する解釈、伝統工芸・現代アート・茶の湯・マンガといった異なる領域の芸術や、ヨーロッパの歴史的建造物と現代日本の空間デザインを高度に融合させた点、鑑賞者と作品、空間の境界を溶かし、東洋古来の関係性の美学を体験へと昇華させた点などが高く評価されました。

丹青社は、この評価をさらなる糧とし、世界的なアートシーンでの日本の工芸に対する評価の向上と伝統工芸・文化産業の活性化、空間と芸術を融合させた「こころを動かす」体験の創造に取り組んでまいります。



©Kouki Hatano



©Kouki Hatano

■ECC Awards について

ECC Awards は、ヴェネチアを拠点に文化を通じた対話と共通理解の創出を目指す NPO 団体 European Cultural Centre（ECC）が、ヴェネチア・ビエンナーレ公式サテライトイベント Personal Structures の閉会式で授与する国際的なアワードです。多様な文化や表現が交わり、新たな価値を生み出す取り組み・プロジェクトを評価・支援することを目的に、すべての出展作品・プロジェクトを対象として選出されます。審査は ECC の国際審査員団および ECC キュレーターチームによって行われ、リサーチ、社会的インパクト、領域横断性（学際性）などの観点で厳正に審査されることから、現代アートシーンにおいて高い権威を有しています。

第 8 回となる今回は、40 カ国以上・175 組のアーティスト・アートプロジェクトが参加した中から 5 部門・各 1 作品（計 5 作品）に授与され、日本人による ECC Awards 受賞は 2015 年のオノ・ヨーコ氏以来の快挙となりました。

■受賞部門『Artistic Interpretation of the Theme: Confluences』について

今回 B-OWND が受賞した『Artistic Interpretation of the Theme: Confluences（展示テーマ「合流」の芸術的な解釈）』部門は、Personal Structures 2026 全体のテーマである「Confluences（合流）」を、確固たる芸術性とビジョンを通じて体現した展示・プロジェクトに贈られる賞です。現在、国際社会や現代アート界が突きつけられている課題やテーマに対する深い解釈と独創性、作品の思想や文脈が最も高く評価されたことを示しています。

【国際審査団 5 名による講評コメント（抜粋・日本語訳）】

Nargess Banks 氏（アート・デザイン・視覚文化専門ライター、エディトリアル・ディレクター）

「今年の ECC 全展示の中で、B-OWND は 2026 年のテーマ『Confluences（合流）』と最も深く結びついていると感じました。工芸からマンガ、いわゆるハイアートとローアートまでを物理的に重ね合わせ、

広報室 担当：石綿、寺戸
Tel：03-6455-8115　Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp
お問い合わせフォーム：https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr

卓越したキュレーションによって時代や領域を軽やかに横断しています。パラッツォ・ベンボやヴェネチアの風景とも見事に呼応し、奥底にある日本の『縁』や仏教の『空』の思想を通じて、既成の枠組みや先入観を超えてアートを見つめるよう誘ってくれます。」

Jesús Alberto Flores 氏（カルチャー・ストラテジスト）

「本展は『Confluences（合流）』を最も包括的に理解したプロジェクトといえるでしょう。ここでの『合流』が単なる視覚的表現にとどまらず、工芸と現代アート、実用と鑑賞、伝統と革新、マンガと古来の技法をつなぐ『方法論』として提示されている点を高く評価します。日本の『縁』という概念が、単なる一般的なテーマを超えた文化的・哲学的な固有性を与えています。」

Euijung McGillis 氏（カナダ国立美術館 現代美術アシスタント・キュレーター）

「規範や固定観念、伝統の名のもとに社会構造に埋め込まれた二元論的な価値観を浮き彫りにするインスタレーションです。『Confluences（合流）』の空間的解釈が極めて創造的でありながら、来場者に魅力的で思索を促す体験を提供しており、視覚面・コンセプト面で驚くべき緻密さをもって探求されています。」

Rahul Gudipudi 氏（研究者、元 CARA シニア・キュレーター）

「非二元論へのアプローチにおいて多層的に機能しており、プロジェクトに含まれる実践と作品のあいだに丁寧な対話を生み出すことで、工芸・産業・美学・正統性の境界や既存の価値判断を解体しています。」

Anouska Phizacklea 氏（オーストラリア写真美術館 館長）

「多様な素材や制作手法を包含しながらも、根底にあるひとつのコンセプトによって見事に結びつけられた、圧倒的な説得力を持つインスタレーションです。」



■受賞コメント

株式会社丹青社 B-OWND プロデューサー／キュレーター 石上 賢

世界各国から多様で最高峰の作品が集まる舞台で栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。共に挑戦したアーティスト、パートナーの皆さまに心より感謝します。私が信じてきたのは、工芸は過去を守るだけのものではなく、人と自然、文化と文化を結び直し、未来の美の価値基準を生み出す力を持つということです。『Relational Logic』で提示した「分ける美」から「結ぶ美」への転換は、まだ始まったばかりです。

この受賞を新たな原動力に、B-OWND はつくり手と共に工芸の可能性を世界へ開き、東洋から新しいルネサンスを巻き起こすべく、挑戦を続けていきます。

■ECC Awards 受賞凱旋展について

ECC Awards 受賞を記念し、2027 年 2 月より B-OWND Gallery（東京・八重洲）など複数会場にて凱旋展を開催します。世界の現代アートシーンで高く評価された『Relational Logic — Beyond Dualism, a World Reconnected』の世界観、出展作品の一部を体感いただけます。展示内容や関連イベントの詳細は、決定次第 B-OWND ブランドサイトおよび公式 instagram にてお知らせします。

■関連情報

・丹青社ニュースリリース：アート・工芸作品のプラットフォーム「B-OWND」 ヴェネチア・ビエンナーレ 2026 公式サテライトイベントにて企画展を開催（2026.03.10）
・丹青社ニュースリリース：アート・工芸作品のプラットフォーム「B-OWND」、ヴェネチア・ビエンナーレ 2026 公式サテライトイベント出展に向けてメディア発表会を開催（2026.04.10）
・B-OWND ブランドサイト
・『Relational Logic — Beyond Dualism, a World Reconnected』特設サイト
・ECC プレスリリース：Winners announced for the European Cultural Centre Awards（2026.11.22）

■ 丹青社について

「空間から未来を描き、人と社会に丹青（いろどり）を。」をパーパスに掲げ、こころを動かす空間づくりのプロフェッショナルとして、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、さまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりの幅広いプロセスをサポート。空間を体験のメディアととらえ、彩りあふれる持続可能な社会の実現に向けて、新たな価値の創造に挑戦しています。

社名　：　株式会社丹青社
所在地：　〒108-8220 東京都港区港南 1-2-70
　　品川シーズンテラス 19F（本社）
創業　：　1946 年 10 月
資本金：　40 億 2,675 万 657 円（2026 年 1 月 31 日現在）
上場　：　東京証券取引所プライム市場
　　（証券コード：9743／業種名：サービス業）
URL　：　https://www.tanseisha.co.jp

80th ANNIVERSARY
かさねよう、丹青（いろどり）

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社丹青社 広報室 担当:石綿、寺戸、武田 Mail: pr-staff@tanseisha.co.jp　Tel: 03-6455-8115
お問い合わせフォーム：https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr

※ニュースリリースに掲載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。